



2020年12月15日発行

公益財団法人 仙台 YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町 9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 松島見子

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.326.2020

仙台YMCA

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



「今できることを誠実に」

健康教育事業部 副部長・認定こども園仙台YMCA幼稚園 副園長

荒木啓一



— 世界の人びとの平安を祈って —

2020年、

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るいます。今現在も大きな波が日本中を苦しめている事は言うまでもありません。私たちは10ヶ月の間、マスクを着用し、手洗い、うがいの励行を徹底して来ました。消毒、換気、できる範囲で三密を避ける努力もして来ました。仙台YMCAプログラムにおいて一人の罹患者を出さずことなく今日を迎えています。参加者ならびに保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。

仙台YMCAでは困難の中でも、子どもたちの事を第一に考え、会員の皆様と共に10ヶ月の道のりを歩んで来ました。3月～5月の期間は子どもたちのプログラムを休止しました。春休みは4月に感染予防ガイドラインを掲げ、慎重に集中水泳とスキーキャンプを少人数で実施しました。6月からはレギュラークラス、8月には短い夏休みでキャンプ、集中水泳プログラムを実施する事ができました。多くの会員の皆様のご理解と、子どもたちの笑顔、そしてリーダーたちの献身的な姿勢に感謝の気持ちで一杯です。

コロナ禍の中、文部科学省からの回答「児童生徒の健康維持のために屋外で適度な運動をしたり散歩をしたりすること等について妨げるものではなく、感染リスクを極力減らしながら適切な行動をとっていただくことが重要であると考えています。」この指針を私たちは受け止め、子どもたちの居場所を作り、子どもたちの笑顔を引き出し、心から元気になれるプログラムを実施して来ました。



(第2面に続く)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人とのかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

(1面の続き)



迎えた冬季プログラム。新型コロナウイルス感染拡大の影響で短い冬休みですが、スキーキャンプ、集中水泳、英会話、書初め、油絵などのプログラムを準備しました。例年よりかなり縮小しての実施となりますが、各プログラム感染防止のガイドラインに沿って、安全に運営を致します。もちろん罹患者がした場合の危機管理体制も整えています。指導者の研修、勉強会も行っており、万全の体制で参加者を迎え入れます。

一例ですが、スキーキャンプでは移動のバス台数を必要に応じて増やし、密を回避します。食事などの時間も工夫し、一般のお客様との接触を極力避けて行きます。集中水泳では更衣室が密にならない

よう、参加者を分け、時間差で着替えをしていただきます。ドライヤーはエアロゾル感染の可能性を考慮し使用はせず、タオル、シャン帽などで対応致します。他にも感染予防対策をしっかり行います。そして的確な判断を致します。私たちが取り組むべき事はまだまだたくさんあるでしょう。私たちはコロナ禍において常に子どもたちの安全を最優先し、参加者にとって意味のあるプログラムを行います。

不安のあるご家庭、今年は参加を見合わせる方針の方もいるでしょう。当然の事です。各ご家庭の考えは全てが正解であると思っています。私たちは今年の冬プログラムに参加される子どもたちと共に新型コロナウイルスについて考え、感染予防や感染された方々への理解を深め、私たち皆の冬休みを価値教育の機会とし、大切に過ごしたいと思います。

— Christmasはもうすぐです。困難の中におられる世界の人々を愛すること。目の前にある義務を果たし、隣人への愛を忘れず、微力でも誰かの役にたてることを考えます。幸福の種、笑顔の種をまく場所を探し、誰に見られていなくても自分の務めを果たせる、そんな冬を神様と共に過ごして行きます。皆様の健康と平安を心よりお祈り申し上げます —



Volunteer Volunteer Volunteer



遠藤 政子さん

仙台市旭ヶ丘児童館
読み聞かせボランティア

旭ヶ丘児童館には、「おはなし広場」という行事があり、読み聞かせボランティアの方にお越しいただいています。そこで、5年間以上、読み聞かせにきていただいている遠藤政子さんについてご紹介いたします。遠藤さんは、水の森市民センターボランティアサークル「ドロップス」に所属された後、読み聞かせを行い、現在は個人でも活動なさっています。

遠藤さんに読み聞かせを始めたきっかけをお伺いしました。読み聞かせ講習会に2か月参加し、絵本に興味をもち、「ドロップス」を立ち上げそうです。その後も読み聞かせ研修会に参加し、子どもたちの為に何かをしてあげたいという子育てサークルの方々の姿に感動を受けた遠藤さん。旭ヶ丘市民センターでの読み聞かせを行った後に、旭ヶ丘児童館でも読み聞かせをしていただくようになりました。

遠藤さんが読み聞かせをしていて大切にしていることや魅力について聞いてみました。大切にしていることは、「子どもの目線で、自分が感動できるもの、季節感のある本を選ぶ」こと。絵本の魅力は、「絵本に書かれてある文は、短いがゆえ、心に残るものであり、その短い文の言葉選びに感動する」ということだそうです。また、読み聞かせをやっていて良かったと思う事は、「終わった後、笑顔で帰ってもらうこと」と笑顔で語ってくれました。

絵本のひとつひとつの文を丁寧に読んでくださるのは、絵本の魅力を知っている遠藤さんだからなのだと思えました。これからも、子どもたちに素敵な時間を届けていただくことを楽しみにしています。

(旭ヶ丘児童館/上田有子)

2020年4月からの公立根岸保育所長町分園の民営化に伴う転園により、Y M C A長町保育園にお世話になることになりました。

1歳で長町分園に入園し、楽しく過ごしているところからの転園には多少の不安を抱くときもありましたが、移行準備期間中にY M C Aの園長先生を初め担当保育士さんが長町分園の保育に参加して下さったこともあり、移行後の担当保育士さんへの娘の信頼は高く、朝、保育園で待っていてくれるだけでその日が笑顔で始まるほどでした。そんな信頼の中で、徐々に保育園にも慣れていき、新しい友だちも増えました。

Y M C Aは子どもを見守りながら子どもの思いを大切に、「考える力」を育む保育をしてくださっていると感じています。広い園庭には大型遊具は設置されておらず、どうやって体を動かして遊ぶのだろうかと思っていましたが、『今日の保育』※を読めば、そんな疑問もなくなるほど自分たちの身の回りにあるものや自然を上手にを使って遊んでいるのだと娘の一日に思いを馳せる日々です。

思い通りにならないと怒ったり上手くできないと泣いたり、大人からすれば些細なことでも娘には大切なことであったり、できるようになりたいと思う成長の一環なのだ気づかされ、これらの日々の積み重ねが、娘の成長していく中で立ち向かうであろう様々な壁を乗り越えていけるような能力につながっていくのだろうと感じるのです。

卒園まであと2年間、親子共にお世話になります。よろしくお願いいたします。

「Y M C Aと私」



秋山 美千子 さん

Y M C A長町保育園・ほし組
秋山珠凜さんのお母様



TOPIC

専門学校 国際おもてなし科

私は、ネパールからの留学生グルン・カラです。現在、仙台Y M C A国際ホテル製菓専門学校国際おもてなし科の1年生です。卒業後は日本のホテルで働くことを目指して勉強しています。ネパールの私の家はプロテスタントの教会です。父が牧師をしています。毎日お祈りをして、毎週土曜日の礼拝にはたくさんの人たちが来ました。ネパールの礼拝はいつも2時間くらいで、ピアノやギターを弾いてみんなで歌ったりします。日本へ来て2年になりますが、なかなか教会へ行く機会がありませんでした。先月、学校の先生から富沢教会を紹介していただきました。優しく家庭のような雰囲気、阿部頌栄先生は私のためにわかりやすい日本語で話してくださいました。2年ぶりに教会を訪ねお祈りの時間を持つことができました。

とてもあたたかい気持ちになって帰りました。あたたかい気持ちになると、勉強やアルバイトもがんばることができます。さっそく、ネパールの両親に報告しました。父も喜んで安心していました。クリスマス前に、教会に行くことができ、本当に良かったです。



(仙台Y M C A国際ホテル製菓専門学校
国際おもてなし科1年 / グルン・カラ)

TOPIC

リーダー委嘱状授与式

Y M C Aにとってユースボランティアリーダーは必要不可欠な存在です。Y M C Aでボランティアをはじめ、Y M C A理解や対象理解、コミュニケーションなどの所定のトレーニングを受講した方々を中心に委嘱状授与式を年3回実施しております。

この冬の委嘱状授与式は、11名の新規ユースリーダーを迎えて12月5日(土)に実施され、25名の方が参加しました。ユースボランティア運営委員会の加藤研委員長より委嘱状が授与されました。新規ユースリーダー代表として、檜木菜奈リーダーは「Y M C Aで継続的なボランティアができることの嬉しさを感じています。これからも先輩リーダーやスタッフの皆さんと共に楽しく活動し、子どもたちと一緒に成長します!」と力強く宣言しました。

また、越前千菜リーダーより「私にとってY M C Aはかけがえのない場所。そして何より『シンプルに楽しい』一緒に力を合わせて楽しい活動にいきましょう!」と温かい言葉をいただきました。これから冬休みプログラムが始まります。頼もしい仲間が加わり、より一層良い活動にしていきたいと感じた委嘱状授与式でした。



(健康教育事業部/ 土橋 敬太)



「サンタクロースのお手伝い」

仙台富沢キリスト教会
阿部 頌栄 牧師

クリスマスの忘れられない思い出があります。

太白の市営住宅に住んでいた我が家にクリスマスの夜がやってきました。いつも晩酌をして体を休めている父が、この日はいそいそと着替え始めたのでした。

「もう一度お仕事に行くの？」

タクシーに乗って出かける父を団地の4階ベランダから見送るわたしに、母が教えてくれたのでした。

「お父さんはこれからサンタさんのお手伝いに行くのよ。」

「ええ！」

わたしの父はサンタクロースの助手だったのです。そういえばおぼろげな記憶の中で、昨年もサンタのお手伝いに行った父の姿を思い出します。これは大変な仕事であることに違いありません。今晚は世界中の子どもたちがサンタクロースを待ってからです。そのサンタさんを、父がお手伝いしてくるなんて！父が帰ってくるのは夜遅くとのことでした。当然です。サンタのお手伝いなのですから。わたしは母に促され、寝床に向かうのでした。

そうして次の朝、いつも通り布団に大きな地図を描きながら5時に跳ね起きたわたしの枕元には「仮面ライダーブラックRX変身セット」が置かれていました。特別にうれしい朝でした。わたしだけでなく、世界中の子どもにプレゼントが届いたはずだったからです。父はそのために出かけてきたのです。わたしは自分のプレゼントも

去ることながら、この父の頑張りに、胸いっぱい誇らしい気持ちと、自分だけではなく、会ったことも見たこともない友達が喜んでる姿を思い浮かべ、嬉しさが湧いてきたのでした。

きっとこのコラムを読まれている皆さまも「サンタクロースのお手伝い」をされている方がおられることと存じます。もちろん、プレゼントのことだけではありません。クリスマスにわたしたちが互いに大切だという気持ちと喜びを分かち合う、その「お手伝い」です。そしてもしわたしたち一人ひとりが、この恵みや嬉しさを「すべての人」に届けるためのもう一歩が踏み出せるなら、クリスマスは単なる「欲しいものがもらえる日」だけではない、本当の特別な日になります。幼い日のわたしのように。

クリスマスの喜びをすべての人に届けましょう。クリスマス・キリストの降誕に示されたことは、神さまからの、この世の何ものにも勝る本当の恵みと喜びが、本当にすべての人に与えられているということでした。そしてその喜びをわたしたちは「すべての人と」分かち合うことが、確かにできるはずなのです。



TOPIC

仙台YMCAクリスマス

2020年12月4日(金)第49回仙台YMCAクリスマスが無事終了いたしました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を、専門学校学生(留学生24名、日本学生27名)、ワイズメンズクラブの皆様(11名)、そして外部の宣教団の皆様(12名)に限定して開催いたしました。例年とは違うクリスマス会となりましたが、OM宣教団の専門学校生へ贈る心温まる礼拝や、ワイズメンズクラブの皆様から留学生へクリスマスプレゼントの贈呈、そして参加者全員での交流ゲーム、最後に留学生からの感謝のメッセージなど、アットホームで楽しいひと時を過ごすことができました。詳しいご報告はまた改めてさせていただきます。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。新型コロナウイルスが1日も早く終息し、来年の第50回記念の仙台YMCAクリスマスはまた沢山の方にご参加いただけるよう願っております。



(仙台YMCAクリスマス実行委員会 高橋 麻美)

維持会費

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

(11月1日～12月8日)

◆一般会員

・維持会員 A会員/10,000円、B会員/20,000円、C会員/30,000円

A会員 門脇 秀和さん 河合 良紀さん

B会員 菊地 弘生さん

・法人会員

A会員/10,000円、B会員/30,000円、C会員/50,000円

D会員/100,000円

B会員 (有)けやき会計事務所様